

吉岡を歩こう 事業報告

吉岡のむかしむかし

ふるさとを散策し語り継ぐ

(西条市)
吉岡歩こう会
会長 渡部 騎区義



◆吉岡歩こう会の結成

ふるさと吉岡は、西条市(旧東予市)の北西部、2〜3キロ北へ行くと今治市(旧朝倉村)という田園地帯の中に位置します。

吉岡の地名は、京都の安楽寿院が所有していた吉岡荘という荘園の名前に由来すると聞いています。安楽寿院はいつ頃吉岡荘を所有していたのか、また、その前後の所有者はどのように変遷したのか、知りたいことで興味が尽きません。

吉岡の名所旧跡を子どもたちや地域の人々と散策し、郷土の地理や歴史を一緒に学ぶことで、子どもたちにふるさと吉岡を知ってもらうと同時に、地域交流も深めたいと思い立ち、平成27年4月、有志7人で吉岡歩こう会を結成しました。

◆歴史散策冊子の作成

吉岡歩こう会では、まず、散策用の冊子を作成することとなり、散策マップ、名所旧跡紹介、歴史人物紹介、伝統行事、むかし話等からなる冊子を、大人用と子ども用の2種類作成しました。特に、子ども用冊子は、吉岡小学校の教職員や保

護者の協力を得て、西暦の表示、ふりがなの付与、分かりやすい表現に心掛け、実際の散策ウォークに沿って活用できるように工夫しました。作成した冊子は、公民館等に寄贈したり、小学校において全校児童に配布しました。

◆ふるさと散策活動の支援

吉岡地区においては、地域住民有志や老人クラブ、吉岡小学校がそれぞれ、吉岡を散策するイベントを開催しています。これら催事において、吉岡歩こう会



吉岡めぐりへ集合

のメンバーが名所旧跡のガイド役となり、ふるさと吉岡について語ることで、ふるさと散策活動の支援を行いました。参加者からは、「ずっと住んでいたのに今まで知らなかった」「もっと知りたいので来年も参加したい」との声をいただきました。

なかでも、吉岡小学校の「ふるさとウォーキング」は、全校児童(約120

人)が参加する学校行事として8年間実施されてきました。しかし、近頃、地元以外を出身とする母親が増えたことから、小学校の依頼により保護者を対象とした学習会を実施し、吉岡の名所旧跡のことだけではなく、子どもたちと一緒に学ぶことのよさについても語る事ができました。今年からは、これまで児童だけの参加であった「ふるさとウォーク」が保護者も交えて実施されるように変更となりました。



保護者と一緒に

◆今後の活動方針

吉岡歩こう会においては、名所旧跡のガイド役を務める要員を増やし、作成した冊子を活用した学習会等を広く展開していきます。

私たちの活動は、子どもたちや保護者、地域住民の興味・関心を高めることが肝要となります。ふるさと吉岡のよさを新たに発見し、資料として残し、永く語り継いでいきたいと考えています。